

答申書②

令和8年2月

杉戸町上水道事業経営審議会

令和8年2月4日

杉戸町水道事業
杉戸町長 窪田 裕之 様

杉戸町上水道事業経営審議会
会長 長谷川 翔太

杉戸町水道事業経営戦略の改定について（答申）

令和7年10月7日付け杉水第190号により諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申いたします。

記

本審議会は、杉戸町水道事業経営戦略の改定について、延べ4回にわたり会議を開催し、慎重に審議を重ねてまいりました。

本町の水道事業においては、人口減少や節水機器の普及等により、水需要の減少が予測されており、これに伴い水道料金収入の減少が見込まれています。

一方で、施設・設備の老朽化が進行していることに加え、全国的に地震や豪雨などの大規模災害が頻発化しており、その備えや対策を引き続き進めていく必要があります。このため、更新投資や維持管理に要する費用の増加が見込まれるとともに、近年の物価上昇の影響により、これらに要する経費全般の増加も避けられない状況にあります。

このように、料金収入の減少と費用の増加が同時に進行することから、経営環境はさらに厳しくなることが見込まれており、町民生活に支障が生じないよう、経営基盤の強化及び財政マネジメントの向上を図ることが求められています。

「杉戸町水道事業経営戦略」は、改定期間（令和8年度～令和10年度）における健全な経営を継続するため、投資試算と財源試算の均衡を図った投資・財源計画を具体的に示しています。

さらに、これまでの審議において委員の意見が反映されており、経営戦略として妥当であると判断いたします。

今後の経営戦略の推進に当たっては、社会情勢や水道事業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しつつ、次の意見について十分に配慮されることを要望いたします。

主な課題と解決策

本町の水道料金は、平成9年7月の改定以降、約29年間にわたり現行水準が維持されてきましたが、令和6年度決算における料金回収率は83.41%にとどまり、必要経費を十分に回収できていない状況にあります。

また、令和6年度決算においては純損失を計上しており、不足分は過年度からの現預金や内部留保で補填しているものの、経営戦略における分析では、手元資金が類似団体と比較して著しく少なく、現行の料金制度を継続した場合には、将来的に事業運転資金が大幅に減少する可能性が高いと予測されております。

このため、安定的な事業運営を確保する観点から、収入増加に向けた対応が不可欠であり、改定後の経営戦略で示された令和9年度における料金35%の改定は、料金回収率の向上及び現預金の確保を図る上で妥当であると判断いたします。

意見

(1) 進捗状況の公表

人口減少や使用形態の変化によって水道料金収入の減少が見込まれている一方で、老朽化及び耐震化への対策や物価変動など、費用の増加が見込まれている。

そのことから、経営戦略の推進にあたり、経営環境の変化を的確に捉えるとともに、進捗状況については、町ホームページなどを通じて町民に公表し、理解を得られるよう努めること。

(2) 料金の改定

経営戦略を踏まえ、料金改定を実施する場合は、町民生活や企業活動に大きな影響を及ぼすことから、別途審議会を開催したうえで十分な説明を行い、適切な料金について理解と協力を得られるよう努めること。

また、料金改定実施後は、定期的に検証及び見直しを行うこと。

(3) 事業運営の効率化と経費の削減

引き続き、事業運営の効率化と経費の削減に取り組み、公営企業としての経営努力を最優先に行うよう努めること。

令和7年度
杉戸町上水道事業経営審議会

会長 長谷川 翔太

副会長 吉田 みゆき

委員 佐々木 康裕

委員 石井 秀典

委員 三田 好子

委員 折原 奈緒美

委員 螺良 多加子

委員 森田 弘

委員 山中 珠恵

<審議の経緯>

回数	日付	審議内容
第1回	令和7年10月7日	○ 施設見学 (1) 諮問事項説明 (2) 杉戸町水道事業の経営状況について
第2回	令和7年10月24日	(1) 杉戸町水道事業経営戦略(案)について
第3回	令和7年11月12日	(1) 杉戸町水道事業経営戦略(案)について
第4回	令和8年1月16日	(1) パブリックコメントの実施結果について (2) 経営戦略(案)に対する意見について (3) 令和7年度杉戸町上水道事業 経営審議会答申書(案)について